

「不登校対策セミナー」だより (全4ページ)



6月12日(日)は米子市にて、6月18日(土)には鳥取市にて、・・・

「不登校対策セミナー (Basic コース)」を開催しました。(「日本海新聞」に近日掲載予定です)

参加していただいた皆さんから、**ご意見・ご感想**をいただいたのですが、その中で、・・・

「啓発活動に活用してもいいです」と、OKをいただいた方々のご意見・ご感想を、・・・

以下に、まとめさせていただきました。

ご意見・ご感想を共有していただく中で、セミナーで学んでいただいた内容の理解がさらに深まり、日々の実践力のアップにもつながるのでは、・・・と考え、また、多くの方々にも、子どもさんとの関わり方の参考にしていただけたら、・・・と思ったからです。

◆参加された方々からのご意見・ご感想について・・・



【保護者 A さん】

- ・発達障がい、自閉症の観点からの「愛着」について、知りたかったです。
- ・「愛着関係」には、親の接し方はもちろんですが、子どもの受け取り方もあると思いますし、年齢(小さい子だと分かりにくい)等も、関係しているのではないかと思います。
- ・相談機関、学校の先生方の知識が少な過ぎると、親も追い込まれ、・・・愛着どころではなくなってしまうです。
- ・セミナーの内容は、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。

【保護者 B さん】

- ・不登校は隠すことではなく、ちゃんと向かい合って、・・・
- ・セミナーに参加して話を聞いたり、他の保護者さんの話を聞いたりすることは、とても大切だと思いました。
- ・「愛情」ではなく、「愛着」のことが印象に残りました。改めて知ると、・・・奥が深いと思いました。



【保護者 D さん】

- ・今まで自分がしてきた対応、行動、言葉かけなどで、・・・
- ・子どもに「共感」できていないことが多々あったことに、改めて気づかされました。
- ・これからは、そのとき、その場の、・・・子どもに合ったやり方で接するように心がけていきたいと思います。

【保護者 C さん】

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自分でも、分かっていることもあり、・・・でも、仕事や(体の)調子が悪い時など、子どもへの対応がうまくいかないことがあり、・・・反省です。
- ・「甘え」を素直に受け止めることの大切さについての内容が、心に残りました。

【保護者 E さん】

- ・専門家の話を聞けて、・・・
- ・今後どうするかを家族で話し合いたいです。
- ・子どもが「安心・安全」を感じられる環境をつくることの大切さが、心に残りました。





【傾聴ボランティアをされている F さん】

- ・地域で、傾聴ボランティアをしています。
- ・不登校だけでなく、・・・皆、それぞれの立場で、不安や悩みをもっておられます。
- ・いろいろな方々と向かい合う時は、・・・
「よく聴く」「うなずく」「笑顔」「否定しない」「自分の意見を押し付けない」など、どれも共通する大切なことだと思いました。

【地域で心のケア活動をされている H さん】

- ・当セミナーは、2 回目の参加です。
- ・ふり返りながら、また、余裕をもって客観視できたように思います。
- ・「どこがポイントか」「何をすればよいか」
・・・など、まだ少しですが、見えてきたように思います。
- ・地域、社会の理解も同様ではないか、・・・
と思います。くり返し、くり返し学び、発信していくことが大切なのは、・・・と思います。
- ・「愛着関係の構築」→「安心・安全の確立」
→「探索活動」のメカニズムが、・・・
印象に残りました。



【子どもたちの支援をされている K さん】

- ・「安心・安全」が、子どもにとって一番大切なものだ、・・・分かりました。
- ・子どもが少し大きくなってからでも、・・・
「愛着関係」づくりは、今からでもおそくない、取り戻せる」・・・と聞いて、安心しました。
- ・「心の手抜きをしない」「つらい気持ちを分かちあえること」「いたわり、ねぎらいの言葉が大切であること」「子どもの「甘え」は、チャンスだと思って、ちゃんと受け止めること」などのお話が、心に残りました。

【保護者 G さん】

- ・セミナーに参加させていただき、・・・
様々なことを考えるきっかけになりました。
- ・子どもの「安心・安全」について、もう一度考えたいと思いました。
- ・「甘え」+「過保護」では、子どもは健全に発達、成長できないというお話を聞きましたが、・・・「過保護」についても、あと少し詳しく聞きたいと思いました。
- ・「どのように子どもと接するか」については多分、家族で考えないといけいないのだ・・・
と思いました。



【保護者 I さん】

- ・子どもの将来が不安で、どうしていいか分からなかったのですが、・・・
今回のセミナーで、毎日の関わり、自分ができる事が見えてきて、参加させてもらってよかったです。

【学校の先生 J さん】

- ・学校では、不登校や問題行動に対して、「愛着」を理由にすることが多いです。
そして、「家庭の問題だから、・・・」と、積極的な関わりや支援が十分にできていないことが多いです。
- ・今日のセミナーを聴いて、・・・
学校でも、先生と子どもとの「愛着関係」を築き、子どもの「安心・安全」な気持ちを高められることができると、思いました。
- ・「愛着」とは、「安心・安全」な気持ちを感じられるということと、同意だと思いました。
- ・「愛着」と言うと、むずかしい感じがしますが、子どもと「安心・安全」な関係を築くことだと考えると、・・・
家族だけでなく、子どもと関わる人なら誰でもできるので、子どもと関わる人は、常に子どもが、「安心・安全」な気持ちでいられることを意識して関わるのが大切だと、
・・・改めて思いました。

【保護者 L さん】

- ・「心の手抜き」「ねざらい」「甘え」「共感」、自分の心に問うと、あてはまることが多くありました。
- ・わたしは、「ねざらい」の言葉をかけることが苦手だなあと気づきました。子どもには、厳しい母だろうと、・・・ふり返りました。
- ・「甘え」させるということをしてあげなかった。これから子どもと歩んでいくのに、・・・私が変わっていきたいと思いました。
- ・子どもは、「自分」をもっているのです、・・・子どもの力を信じ、私は、「(余分な) 口を出さない」というのが我が家の、「安心・安全」が増えていくことだと感じます。



【フリースクールの先生 N さん】

- ・自分の実践活動を、反省して振り返ることができました。
- ・保護者の支援やサポートが大切だと、・・・実感しました。
- ・気づいてみると、・・・「～しなければならぬ」と言いがちな自分がいました。

【保護者 L さんの(つづき) です!】

- ◆アカゲザルの代理母研究について
 - ・見ていてつらくなりましたが、・・・「こうさせてはいけない!」と強く心に残りました。
- ◆お弁当の事例について
 - ・子どもが学校に行けなかった時、お昼ご飯を用意してあげられない時があった。
- ◆「甘え」について
 - ・「今日のごはん、何?」は、・・・よく聞くフレーズです。これが、「甘え」だと気づけなかった。甘やかしているんだ、・・・と思いました。
- ◆「ねざらい」について
 - ・「そうかー、大変だったね」を、私の辞典に入れる。
- ◆「共感」について
 - ・「そうか」「ふーん」を意識したい。

【祖母 M さん】

- ・「愛着」と「自立」、「甘え」と「探索」を両輪としながら・・・子どもと関わっていくことの大切さが分かりました。
- ・不登校の要因を探ることより、目の前にいる子どもの、今の生活を幸せにすることを、目指していきたいと思いました。
- ・「衣」「食」「住」の改善は、安定した「愛着関係」づくりと・・・深く関わっていることが分かりました。

※ご意見・ご感想にご協力をいただき、ありがとうございました。

◆9月「サポートセミナー」について (お知らせ)

★9月の「サポートセミナー」は、・・・

鳥取市は、9月17日(土)、さざんか会館にて、

米子市は、9月25日(日)、米子コンベンションにて開催します。

★セミナーに申し込みをされている方には、9月上旬に、

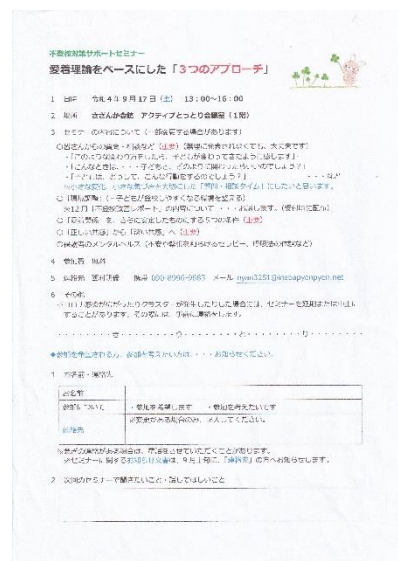
「セミナーに関するお知らせ」を送信、または郵送します。

(お知らせ発送は、申し込みをされている方に限ります)

もし、届かない場合は、・・・

以下のセミナー担当(西村)まで、連絡をお願いします。

携帯 090-8996-9883 (9:00~18:00)
メール nyan3251@inabapyonpyon.net



★「不登校と発達障害」について、次回のセミナーで取り上げてほしいとのご意見を伺いました。
それは、OKなのですが、・・・
「不登校と発達障害」としても、その範囲は広く、どこに焦点を当てるとよいか分かりません。
そこで、「不登校と発達障害」のご意見をお寄せいただいた方には、・・・お手数ですが、・・・
その内容について、あと少し詳しくお知らせいただけませんかでしょうか。よろしくお願いします。

★コロナ感染がおさまり、9月セミナーが予定通り開催できることを願っています。

◆**やっぱり、日々の取り組みの積み上げは、・・・大事だと思います！**



数年前の**ベストセラー本**・・・

「**不登校は、1日3分の働きかけで、99%解決する**」という書籍があります。

筆者は、その中で、・・・

「**保護者は、子どもに、どんな働きかけをするとよいか**」・・・について述べています。

・筆者は、**再登校に導く「3つのポイント」**について、次のように述べています。(目次より引用)

★**ポイント1＝自信の水をつくる**

- ①子どものよさに、親のうれしい気持ちを加えると、自信の水となる
- ②子どものよさに、「・・・の力がある」を加えて励ます
- ③愛情深く観察し、子どもを主人公とした声かけをする

★**ポイント2＝コンプリメント（よさに気づかせる）**

- ①コンプリメントは、子どものよさを伝えて気づかせること
- ②1日3つ以上のコンプリメントを守る

★**ポイント3＝観察記録をつけることが大切**

- ・毎日3つのコンプリメントをノートに記録する

・そして、成功事例が3つ紹介してあります。

・要は、・・・

親が、子どものよさを伝えて励ますと、自信の水がたまる。

自信の水がたまると、子どもは、再登校へ向けて動き始める。・・・というのが、その要旨です。



筆者の森田氏は、数年前、県教委主催の「不登校対応研修会」の講師として鳥取で講演されました。
しかし、そのことで、・・・

鳥取県の不登校の児童・生徒数が**99%**減ったという話を、私は、一度も聞いたことがありません。

ここで、きわめて重要な視点は、・・・

研修会で学ぶことは大切なことだと思いますが、・・・やはり、それ以上に、

「学んだことをもとに、適切な関わり方をいかに積み上げていくか」・・・ということだと思います。

文責 西村明倫（「不登校対策セミナー」担当、「鳥取タンポポの会」アドバイザー）

公益社団法人日本心理学会認定心理士

メンタル心理カウンセラー

一般社団法人日本 TFT 協会診断レベルセラピスト